





木曽林務課だより



暖冬傾向の中、気温の変化が大きい日が続いていますが、いかがお過ごしですか？
今月号の木曽林務課だよりは、嬉しいニュースをお届けします！！

令和元年度長野県ふるさとの森林づくり賞が決定しました

長野県ふるさとの森林づくり賞は「長野県ふるさとの森林づくり条例」の基本理念に基づき、森林・林業の健全な発展に資するため、その振興に貢献のあった方に賞を贈るものです。木曽地域からは、本年度2名の方が受賞され、1月30日に県庁で表彰されました。おふたりが受賞された森林づくり推進の部は、地域の森林づくりや優れた林業技術など、広く長野県の森林づくりの活動及び取組において貢献のあった個人または団体に贈るものです。

賞名	受賞者	功績事項
森林づくり 推進の部 長野県 知事賞	たて ただお 楯 忠夫 中津川市山口 (旧木曽郡山口村)	楯さんは、定年退職後、親の実家に移り、地域に根付いていた製炭技術を学ばれました。以来、地域の里山の森林や竹林の整備と発生材の有効活用に取り組まれ、木炭・竹炭や竹酢液に製品化とともに、道の駅などでの販売を行ってられました。また、品質や成分にばらつきの少ない木酢液等を一般の方に提供できるよう、全国組織である木竹酢液認証協議会の認証審査の現地調査員として、長野県内において積極的な活動を行っておられます。
	森林づくり 推進の部 長野県 猟友会長賞	ふるさわ しょういち 古澤 昇一 氏 木曽町
	古澤さんは、40年を超える狩猟歴において事故や違反行為は一度もなく、模範的な狩猟者として地域の適正な捕獲活動に大きく貢献されるとともに、長野県猟友会及び大日本猟友会の狩猟指導員として、捕獲技術の次世代への継承や会員の技術的な助言・指導にも尽力されてられました。 また、木曽猟友会会長などを務められ、猟友会の発展に大変な尽力をされるとともに、地域の野生鳥獣被害対策の推進に大きく貢献されています。	